

1. 別名

ベンゾール

2. 性質

液体, 無色 芳香

- 分子量; 78.12 ● 比重; 0.879
- 蒸気密度; 2.70 ● 沸点; 80.1℃
- 蒸気圧; 10kPa (蒸気濃度 9.87%)
- 下部発火点; - 11℃ ● 上部発火点; 16℃
- 爆発範囲; 1.2~ 8.0% ● 発火温度; 498℃
- 溶解性; 不
- 許容濃度; 日本 ※参照
米国0.02ppm (TWA)
- 管理濃度; 1ppm
- 環境基準; 0.003 mg/m³以下(環境基本法、年平均)

3. 危険性・有害性

可燃性・爆発性; 揮発性が大きく, 極めて引火しやすい。蒸気は空気より重く, 床面をはい, 遠くに流れ, 低いところに滞留して爆発性混合ガスをつくりやすい。

人体への影響; 高濃度ばく露で麻酔作用を起こす。1000ppm以上では急性中毒をまねき, 2000ppm以上では5~10分で死亡する恐れがある。実際に問題になるのは反復ばく露に伴う慢性中毒であり, 100ppm以上では短期間で中毒症状が現れる。臭気が感じられる濃度は約50ppmであり, 臭気を感じるような環境については注意を要する。慢性中毒により骨髄の造血機能障害を起こし, けん怠感, 化膿傾向, 鼻出血など出血傾向をまねく。重傷の場合, 再生不良性貧血となる

4. 他の分析方法

ガスクロマトグラフ法 [NIOSH],
吸光光度法 (硫酸-ホルマリン法)

5. 用途及び発生場所

染料・合成ゴム, 合成繊維・合成樹脂・医薬の原料, 可塑剤, 爆薬, 防虫・防腐剤の原料, 抽出剤, 溶剤, 農薬・香料・洗剤等の原料

6. 関係法令

安衛法 (危険物・引火性の物、リスクアセスメントを実施すべき危険有害物)

安衛令 (名称等を表示・通知すべき危険有害物)

特化則 (第2類, 特定第2類, 特別管理)

化管法, 労働基準法 (疾病化学物質)

大気法 (指定物質排出抑制基準)

高压法 (圧縮ガス, 可燃性ガス)

消防法 (危険物第4類 引火性液体, 第一石油類非水溶性液体)

水質法, 土壌汚染対策法

船舶安全法 (引火性液体類), 航空法 (引火性液体)

輸送上の注意 (国連番号1114, クラス3, 容器等級II)

※

過剰発がん生涯リスクレベル	評価値
10 ⁻³	1ppm
10 ⁻⁴	0.1ppm

7. 検知管の適用

